

G01W 気象学（気象用にデザインしたレ - ダ、ソ - ナ、ライダ - または類似の方式 G01S13/95, G01S15/88, G01S17/95）

注

(1) このサブクラスにおいては、下記の用語は以下に示す意味で用いる：

“気象学”とは特定の環境の状態の測定を含む。

(2) クラス G01 のタイトルに続く注に注意すること。

- 1/00 気象学
- A 大気の移動・拡散現象の解析、検出
 - C レ - ダ - 気象一般
 - E 雲高計、雲の存在の検知
 - G 氷、霜の検知〔J 優先〕
 - J 路面の状態判別、路面の凍結検知
 - L 記録手段一般
 - Z その他
- 1/02 ・2以上の変量、例：湿度、気圧、温度、雲量、風速、の測定による天気状況を指示する計器（G01W1/10 が優先）
- A デ - タ収集の方法に特徴のあるもの
 - B 信号処理に特徴のあるもの
 - C 表示方法に特徴のあるもの
 - Z その他
- 1/04 ・測定された変量を別々に指示するもの
- 1/06 ・天気状況を総合して指示するもの（天気状況または人体に対する空気の影響のいずれかに関係する“冷却値”を測定するカタ温度計 G01W1/17）
- 1/08 ・気象目的のための気球、ミサイルまたは航空機の適合；ラジオゾンデ
- A ミサイルの利用
 - C 航空機の利用
 - E 気球の利用
 - G ブイ・船舶の利用
 - H ラジオゾンデ
 - J ・ラジオゾンデそれ自体の構造
 - K ・気象変数の測定
 - L ・単一変数の測定
 - P 気象衛星の利用
 - R A-P 以外の手段の利用、複数手段の利用
 - T 信号処理
 - U ・送信手段に特徴のあるもの
 - Z その他
- 1/10 ・天気状況の予報装置
- A 降霜、着氷の予知
 - B ・路面の凍結予知
 - D 測定された気象変数に基づく予知〔A,B 優先〕
 - E ・雷雲からの情報に基づく予知〔落雷に伴う発光等〕
 - F ・空間電位の変化
 - H ・日射量に基づく予知
 - K ・湿度、温度に基づく予知
 - M ・気圧に基づく予知
 - P ・降雨、降雪に基づく予知
 - R ・複数の気象変数に基づく予知〔E 優先〕
 - T レ - ダ - 情報に基づく予知

- U 目覚し時計等日常生活品と組み合わせたもの
 - Z その他
- 1/11 ・大気中の湿度を表示するための装置
- A 防雨、防風手段；百葉箱
 - C 湿度計自体
 - D ・光学的〔色変化〕、機械的〔伸び〕手段の利用
 - E ・電気的手段の利用
 - F ・検出部の構造、材料
 - H 結露の検出
 - J ・光学的手段の利用
 - L 日常生活品との組み合わせ
 - Z その他
- 1/12 ・自記日照（時間）計
- A 日照計
 - B ・日照強度の測定に特徴のあるもの
 - C ・太陽の方位、高度の補償
 - D ・受光部に特徴のあるもの〔C 優先〕
 - G 雲の判別を行なうもの
 - J 日照、日影の範囲、時間の算出
 - K ・シミュレ - タ
 - Z その他
- 1/14 ・雨量計または降水量計
- A 単一の測定手段からなるもの
 - B ・光を利用したもの
 - C ・音波を利用したもの
 - D ・温度を利用したもの
 - E ・放射線、電磁波を利用したもの
 - F ・電気抵抗・容量を利用したもの
 - G ・圧力、重量を利用したもの
 - H ・測定器の昇降量を利用したもの
 - J 複数手段の利用
 - K 降雨、降雪用の受けます、管、槽を有するもの
 - L ・転倒ます型
 - M ・計数方法に特徴のあるもの
 - N ・貯水型
 - P ・水滴計数、流量測定を行なうもの
 - Q 雨と雪の判別、雪の状態をみるもの
 - Z その他
- 1/16 ・大気中の電位差測定、例：雲の帯電によるもの
- A 空間電位の測定
 - B ・ファイ - ルドミルを用いるもの
 - C 落雷の方位、距離の測定
 - D ・音波を利用したもの
 - E ・電磁波を利用したもの
 - F ・光を利用したもの
 - G ・複数手段の利用
 - Z その他
- 1/17 ・天気状況または人体に対する空気の影響のどちらかに関係する“冷却値”を測定するカタ温度計
- A カタ温度計
 - C 不快指数計
 - D ・乾球、湿球温度計の利用
 - E ・電気的なもの
 - F ・D,E 以外の測定値の組み合わせ、単一測定量の利用
 - G ・電気回路に特徴のあるもの

	H	室内空調の利用に特徴のあるもの
	J	不快状況の算出手段、方法
	Z	その他
1/18		・気象測器の試験または較正